

# 命の大切さを学ぶ教室資料

でんでんむしのかなしみ 作:新美南吉 出:大日本図書

ある日、そのでんでん虫は、大変なことに気づきました

「わたしは今までうっかりしていたけれど、わたしの背中の殻の中には悲しみがいっぱい詰まっているではないか」この悲しみはどうしたらよいのでしょうか。

でんでん虫は、お友達のでんでん虫の所へやってきました。

「わたしはもう、生きていられません」と、そのでんでん虫はお友達に言いました。「何ですか」とお友達のでんでん虫は聞きました。

「わたしは何と言う不幸せなものでしょう。わたしの背中の殻の中には、悲しみがいっぱい詰まっているのです」と、はじめのでんでん虫が話しました。すると、お友達のでんでん虫は言いました。「あなたばかりではありません。わたしの背中にも悲しみはいっぱいです」

それじゃ仕方ないと思って、はじめのでんでん虫は、別のお友達の所へ行きました。するとそのお友達も言いました。「あなたばかりじゃありません。わたしの背中にも悲しみはいっぱいです」

そこで、はじめのでんでん虫は、また別のお友達の所へ行きました。こうして、お友達を順々に訪ねて行きましたが、どのお友達も、同じことを言うのであります。

とうとう、はじめのでんでん虫は気づきました。

「悲しみは、誰でも持っているのだ。わたしばかりではないのだ。わたしは、わたしの悲しみをこらえて行かなきゃならない」そして、このでんでん虫はもう、

なげ嘆くのをやめたのであります。

## 自分の番 命のバトン

父と母で二人 父と母の両親で四人 そのまた両親で八人 こうしてかぞえてゆくと

十代前で千二十四人 二十代前では～？ なんと百万人をこすんです か こむりょう過去無量の

命のバトンを受けついで いまここに 自分の番を生きている それが あなたの

いのちです それがわたしの いのちです

みつを

相田みつを 「にんげんだもの」文化出版局

「つぶれた水筒をもとに戻さないと、いけないんだよ…」  
愛知県一宮市で昨年十月、トラックにはねられ死亡した同市の小学四年則竹敬太君（九歳）の兄は事故直後、両手で何度も水筒を直そうとした。水筒を直せば、弟が助かるかもしれないと

## 目録 つぶれた水筒

思ったのだろう。事故を目撃した兄の心の傷を物語るエピソードを、父の崇智さん（四）もが同市内の高校であった交通安全講話で話していた。  
運転手の男は、スマートフォン向けゲーム「ポケモンGO」をしながら運転していた。「事故の加害者にも、

被害者にもならないようにしてほしい」。教員でもある崇智さんは、将来、車の運転免許を取得する生徒たちに思いを伝えている。  
講話には水筒を必ず持って行く。敬太君と兄の痛みを知ってもらうことが、事故防止につながると信じて。  
（鈴木佐歩）

↑ 中日新聞 2017年10月17日夕刊



今日お話しした内容等をインタビューなどで映像化していただいたものをご紹介します。ご家族にも情報を共有していただければうれしいです。

このような不<sup>ふ</sup>条<sup>じょう</sup>理<sup>り</sup>な事故（事件）が亡くなるように強く願います。

私たちは受け継いだ命をつないでいく必要があると思います。誰も被害<sup>ひがいしや</sup>者<sup>しや</sup>にも加害<sup>かがいしや</sup>者<sup>しや</sup>にもならないために。

\*ご意見ご感想は右記のQRコードからも送っていただけます。則竹崇智



交通事故遺族の声  
ながらスマホSTOP

愛知県警察



2017年12月～ 愛知県警 配信開始

## 被害者遺族の声 ～ながらスマホSTOP～

### ながらスマホで失った9歳の息子の命

その日は突然やってきました。職場に一本の電話が入り、「とにかくけいちゃんが大変だからすぐに病院にきて」と私の母親の一言で病院に駆けつけました。

病院に着いても集中治療室に入ることができず、家族で待ちました。

待っている間に病院に来た警察官から敬太が持っていた潰れてしまった水筒、メガネ、ランドセル等を受け取りました。すると12歳の長男は、「父ちゃん、敬太の水筒が壊れて使えないよー、戻してやらないと。」と直るはずのない水筒を必死に押して直そうとしていました。

しばらく待合室で待った後、治療室に入ることを許されましたが、そこで目の当たりにしたのは、医師に馬乗り

なられて心臓マッサージを受け、瞳孔が開いたままの敬太でした。

その後も必死の措置が行われましたが、医師から言われたのは「今、敬太君のお腹の中は大量に出血した血液でいっぱいになった状態で血圧が保たれていますが、メスを入れると、それで終わりです。」という言葉でした。

私は諦めることができず、「肝臓の一つくらいあげてもいいですから、何とか助けてください。」とすがりましたが、最後は一緒にいた私の父親が私の肩をそっと引き、「敬太は頑張ったよ。」と促したのです。

それから間もなく、家族に囲まれながら敬太は生まれた病院で息を引き取りました。

敬太は集団下校で横断歩道を横断中に、スマホでゲームをしながら運転していたドライバーに命を奪われたのです。

**もう二度とこんなこんな悲しみにくれる家族を増やしたくありません。そのために、全ての人が前を見るという当たり前のことを守って運転してください。**

「あの日に戻れたら…」

交通事故被害者遺族の声②

### ながらスマホで失った 9歳の息子の命

企画 警察庁

協力 一般財団法人東京都交通安全協会



小学校1年生のお嬢さんを交通事故で亡くされた山形県の渡邊さんのお話の後13分頃から再現ドラマが流れます。

2019年2月～

警察庁作成 JAPAX 配信

この動画を見ても

あなたは

ながらスマホしますか？



2020年4月～ 配信

You Tube 則竹崇智で検索すると出てきます。

昨年2月、講演会時の映像や私の想いを語らせていただいております。この視聴で「東海交通遺児を励ます会」に寄付をさせていただきます。

